

中学校国語科採点基準

3枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答	〔例〕	採 点 上 の 注 意	配 点
問一	㉞	1		各 2 × 4
	㉟	1		
	㊱	4		
	㊲	3		
問二	㉠	3		各 3 × 2
	㉡	2		
問三	4			3
問四	1			3
問五	2			5
問六	4			6
問七	2			8
問八	日本では、欧米文化をそのままではなく、独特の消化吸収と変奏を成し遂げて受け入れたという事情。(46字)		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10
問九	論理性に優れた言語が、人間どうしの心の動きや、自然と人間の関わり方について、十分表現できずに取りこぼしてしまう危険性があるという例。(66字)		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10
問十	自分たちの文化を優れたものであると誇り、他を蔑視する態度。(29字)		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8
問十一	ある文化共同体のもとで使用される高度な文学的磨きのかかった言葉は、日常の共有による絶え間ない日常語の駆使によって支えられており、異なる文化共同体の言語を使用する人には容易に理解し難いものであること。(99字)		内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	12

79

中学校国語科採点基準

3枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点	
二	問一 1		2	
	問二	ア 3		各 3 × 2
		イ 2		
	問三 4		3	
	問四 2		3	
	問五 4		3	
	問六 姫君と結婚するかどうかということ。(17字)	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8	
	問七	B 決して悪いことではないだろう	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 6 × 2
C 北の方にお気遣い申し上げますな				
問八 姫君の、少将からの手紙に取り合おうとしない様子。(24字)	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8		
三	問一 3		2	
	問二 1		3	
	問三 4		3	
	問四	㉑ 2		各 4 × 2
		㉒ 3		
	問五 1		4	
	問六 飛ぶのに尾を使いほしないが、尾を折り曲げれば遠くまで飛ぶことはできない	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	6	
問七 葉が一枚落ちたことで年がまもなく暮れようとするのを察するよ うに、身近なわずかな前兆から遠い将来の大きな変化を察知するとい うこと。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	8		
四	問一 3		3	
	問二 4		3	

45

34

6

中学校国語科採点基準

3枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点
問一	<ul style="list-style-type: none"> ・ 書こうとする根拠が確かな事実や事柄に基づいたものであること。 ・ 自分の考えが事実や事柄に対する適当な解釈から導き出されていること。 	順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各5×2
五 問二	<p>根拠の適切さを考える観点に対応した、適切な根拠の例と適切ではない根拠の例をそれぞれ提示し、どちらが適切であるか、また、それはなぜかを説明させることを通して、適切な根拠の特徴を見いだし、根拠の適切さを考えるための観点として整理させる指導を行う。</p> <p>具体的には、次に示すような「図書室を使った授業をもっとしてほしい。」という考えとその根拠の例を、黒板やワークシート等に提示して考えさせる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">考え：図書室を利用した授業をもっとしてほしい。</p> <p>根拠の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ㊦： 図書委員会が行ったアンケート調査によると、全校生徒の約80%が図書室を利用した授業をしてほしいと回答している。 ㊧： 私の仲の良い友達も図書室を利用した授業をしてほしいと言っている。 <p>根拠の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ㊨： 図書委員会が行ったアンケート調査によると、授業で課題を解決するために資料を集めていないと回答した生徒は約70%である。その原因として、現在は教室での授業が多く、調べたいことがあったとしても、昼休憩や放課後まで図書室に行くことができないため、すぐに資料を探すことができないことが考えられる。 ㊩： 図書委員会が行ったアンケート調査によると、一か月に1冊も本を読んでいないと回答した生徒が約15%いる。 <p>提示した根拠の例について、発問1「㊦と㊧を比較して、どちらが適切な根拠といえますか。」、発問2「㊨と㊩を比較して、どちらが考えの根拠とするのに適切ですか。」という二つの発問をする。生徒は適切な根拠であるか考えるものを選ぶ過程で、なぜ適切であるといえるのかを考えることになる。そして、その考えと理由を交流することを通して、適切な根拠の特徴として、㊦と㊧の比較から、確かな事実や事柄に基づいたものであることを、㊨と㊩の比較から、事実や事柄に内包された問題点や背景などを解釈し、そこから自分の考えが導き出されていることを、見いだしさせることができる。これらの特徴を根拠の適切さを考える観点として整理させる。</p>	問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。	3 6 2 6